

# 全校児童が創作劇を熱演。 鉾山をテーマに「柏台物語」 育った地域に愛着と感謝を込めた柏台小学校学習発表会



「柏台物語」は、松尾鉾山がスタートするまでの、柏台地域の様子や暮らしなどを歌や踊りを交えて創作劇にしました

公立移管50周年を来年に迎える柏台小学校(穂積恵祥校長、児童58人)は10月23日、学習発表会を開催しました。同校では毎年この時期に、日ごろの学習の成果を、父や地域の皆さんに披露しているものです。今年の目玉は、全校児童が一つの劇に出演し、照明なども児童が協力して作り上げた全校創作劇「柏台物語」です。児童会スローガンに「心を一つにI・L・O・V・E 柏台」を掲げ、学校と地域が学習発表会を盛り上げようとして取り組



松尾鉾山と共に歩んできた地元柏台について理解を深めようと、全校創作劇に取り組む児童たち



勇壮な鼓動を体育館に響かせた「八幡平太鼓」

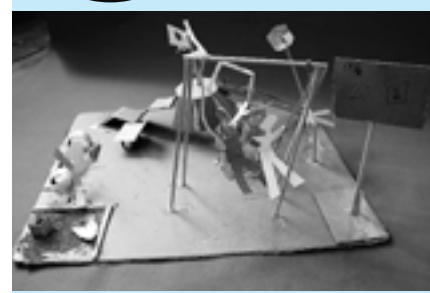
組みました。物語は、大正から昭和40年代まで東洋一の硫黄鉾山と呼ばれ、隆盛を極めた松尾鉾山が出来上がるまでを劇にしました。児童たちはこの日のために、松尾鉾山の歴史について調べ直し、方言なども地域の祖父母などから教えてもらいました。児童たちは合併を機会に自分たちの地域について愛着と感謝を込め、合唱あり、踊りありの約1時間半にわたる劇を演じました。この後、同校伝統の八幡平太鼓も披露。手にまめをたくさんつくった4年生以上の児童が、体育館いっぱいには太鼓の音を打ち鳴らし、訪れた人たちの心を響かせました。

## みんなの作品

～平館小～



3年 伊藤 来希くん



「夢のまち伊藤公園」



1年 中村 成秀くん



「けんだまあそび」



5年 高橋 彩さん



「セロ弾きのゴーシュ」

# 地元を愛する人を 応援するのが使命



「第2のふるさとに帰って来たみたいだ」。国井勝利岩手日報社八幡平支局長はそう語った。父親が松尾鉾山に住んでいた関係で、本市にはゆかりが深い。スキーや温泉に訪れることも少なくなかった。「自然に囲まれ、美しい景色が多い。住んでますます好きになった」とほほ笑む。9月1日、支局開設で赴任が決まった。新設合併で注目度が高い八幡平市での勤務だ。「支局勤めは初めてではないが、責任は重大だと思った」と本音を語る。「このまちの人は気さくな人が多く、取材ではいつも温かく迎えてくれる。人とのふれあいがホッとするひと時もある」と表情を和らげた。「旧町村」ごとのそれぞれの持ち味が融合すれば市はもっと発展する。それを掘り起こして記事にすることが使命。地元を誇りに思い活動する人たちをもっと応援したい」と彼は内に秘めた思いを胸に、今日も市内を駆け巡る。

## 国井 勝利さん

●くにい・かつとし 盛岡第三高校、明治大学政経学部を卒業後、平成5年岩手日報社入り。校閲部、運動部、報道部、久慈支局、整理部と勤務し、今年9月に新設したばかりの八幡平支局長に着任。妻の幸さんも同社総務局に勤務する。スキーや溪流釣りなどアウトドアを好む行動派。たくさんの市民の声を聞き、紙面に掲載することをモットーにする35歳。血液型AB型。盛岡市出身。大更在住。

## 広報クイズ No.2 11月2日号の問題

## タイ国から本市 を訪れた16人は 何大学の学生？

正解者の中から抽選で3人の方に500円分の図書カードをお贈りしますので、どしどしご応募ください。  
◎応募方法 はがき、ファクス、メール(パソコン、携帯電話)に「答え、住所、氏名、年齢、行政区」を書いて応募してください。また、答えのほかに、広報の感想や意見などを書き添えてください。紙面づくりの参考にさせていただきます。  
◎応募期限 11月18日(金) 消印有効  
◎応募先 八幡平市役所「広報クイズ係」  
☆はがき ☎028-7192(住所不要) ☆ファクス ☎75-0469  
☆メール somuka@city.hachimantai.lg.jp  
\*メールのタイトルに必ず「広報クイズ」と入力してください。  
◎第1回の正解 「西里テツ」さん ◎応募者数 20人 ◎正解者数 20人  
◎当選者 山村辰哉さん(大更)、久世教枝さん(柏台)、遠藤良友さん(川原)